

# 和歌山だよいい

令和4年  
(2022) 7月号

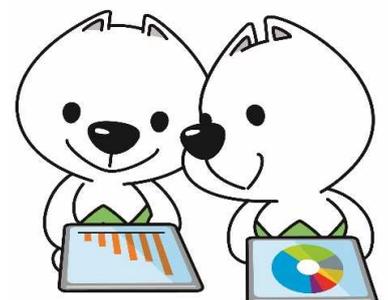


ひまわり畑 (海南市下津町)

北アメリカ原産でももとは食料として栽培されていた「ひまわり」。日本に伝わったのは1660年代後半の江戸時代と言われており、長く人々に愛されてきました。ひまわりには「向日葵」以外にも、「日車」や「日輪草」など様々な漢字表記がありますが、いずれも太陽が煌くような姿や、空に向かって顔を上げて咲く姿をイメージしたものであり、その花姿には元気をもらえます。  
(写真提供: 公益社団法人和歌山県観光連盟)

## CONTENTS

- 1 知事メッセージ . . . . . p. 1
- 2 和歌山県政トピックス . . . . . p. 2 ~ 8
- 3 お知らせ . . . . . p. 9 ~ 17
- 4 ふるさと歳時記 . . . . . p. 18



## 間違った政策

去る6月15日の県議会で、私は県知事としての職務は現在の任期限りとしたいという希望を表明いたしました。ただ、12月16日までの任期いっぱいには職務に全力投球いたしますし、前回までのように、選挙運動と思われぬように、選挙近くの公式手段での発信を控えていたことも必要ありませんので、この知事メッセージも任期いっぱい続けさせていただきます。

私が県庁を率いて和歌山県の行政を担当させていただいたこの16年間、常に脳裏にありましたのは、県民の信頼を受けて担当している県政の舵取りを間違っていないかということです。したがって、特に反対の意見の人が掲げる事実や論理、世の中の新しい動きなど、いつも感度を高くして、情報を収集して、政策が間違っていないかどうかを考えていなければなりません。

それを考える時、私は一番大事なことは論理だと思っています。政策の成果は将来に出てくるものですが、たくさんの情報を得つつ、政策の利害得失を分析すれば、これは将来良い成果を生むものか否か、答えは出せるものだと思います。その逆は、何とはなしの風とか空気とか、誰かが唱える世論とか、人気だとかで考えることだと思いますが、論理に反すること、要するに理屈に合わないことをやろうとすると、いざれ復讐しゅうの女神が現れ、ひどい結果となりがちです。

でも政治や行政の場合、問題は復讐をされるのは、間違った政策を唱えた政治家や行政の責任者ではなく、国民や県民であるということです。国や地域がひどいことになって、人々が苦勞をしている時、その原因たる政策を唱えた人は、案外その後、別の意見に変身して、格好よく振る舞っているかもしれません。だからこそ、国民や県民は、たとえ、政治や行政のリーダーが唱えた事であっても、その内容をいつもチェックするとともに、正しい政策をとってくれそうなリーダーを選ぶ必要があります。これが民主主義の大事な点だと思います。

和歌山県知事 仁坂 吉伸



6/15 議場にて

●「データ利活用シンポジウム～DX時代の統計～」を開催しました

総務省統計局と独立行政法人統計センターが所管する「統計データ利活用センター」及び本県が所管する「和歌山県データ利活用推進センター」が和歌山市内に開所してから今年で5年目の節目を迎えます。

データ駆動型社会の到来とICTの進展の中で、企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）への取組を通じ、今後の公的統計の将来を展望するとともに、両センターの意義を広く発信するため、6月19日に「データ利活用シンポジウム」を開催し、会場又はオンラインで多くの方にご参加いただきました。



和歌山大学における取組  
についてを話す伊東氏



基調講演を行う丸山氏

シンポジウムでは、和歌山大学の伊東千尋<sup>いとうちひろ</sup>学長から大学におけるデータサイエンス教育の取組についてお話しいただいた後、花王株式会社の丸山宏<sup>まるやまひろし</sup>エグゼクティブフェローから「Software2.0とデジタルトランスフォーメーション」と題してAIを活用した取組事例を中心に基調講演を行っていただきました。

その後、情報・システム研究機構統計数理研究所の椿<sup>つばき</sup>ひろえ<sup>ひろえ</sup>計所長、滋賀大学の竹村彰通<sup>たけむらあきみち</sup>学長、Zホールディングス株式会社の佐々木<sup>ささき</sup>潔<sup>きよし</sup>常務執行役員、先の丸山氏をパネリストとして、「DX時代の統計」をテーマに統計と企業のDXそれぞれの立場で、ディスカッションしていただきました。

シンポジウムの参加者からは、「企業のDXの取組等をお聞きして、自身の業務の参考にしていきたい」「データ利活用の重要性は理解しているが、実践できる人材がおらず、



「DX時代の統計」をテーマとしたパネルディスカッションの様子

今後の人材育成が課題」「経験則ではなく、データに基づいた事業展開がますます重要になってきていることを実感した」といった様々なお声を頂きました。

県では、現状把握とあるべき将来像を考える必要がある政策立案においても統計データをしっかり活用し、先進的なデータ活用事例を全国に発信するとともに、統計に係る県内高校生向けの特別講義のほか、全国の高校生・大学生を対象としたデータ利活用コンペティションの開催などを通して、次世代のデータサイエンス人材育成に向けた取組を積極的に推進していきます。

●第21回「わかやま環境賞表彰式」を開催しました

県では、平成14年に「わかやま環境賞」を創設し、環境保全に関する実践活動が他の模範となる個人又は団体を表彰しています。

表彰を通じて、受賞者の活動事例を広く紹介することにより、県民の皆さんの環境保全に関する意識向上と環境保全に係る行動の促進を図ることを目的としています。



受賞者の皆さんと知事

21回目を迎える今回は、1個人と4団体の方々に各賞をお贈りしました。

わかやま環境大賞を受賞された「きとら農園」は、荒れた山を山椒畑として再生し、有機栽培に取り組むとともに、インターンシップの受入れを積極的に行い、不可能と言われたぶどう山椒を軸として生計を立てる地域のモデル農家として活躍されています。その他、今回受賞された皆さんの活動も波及性に優れ、かつ献身的に環境保全に取り組んでいるものです。

県では、「将来にわたり笑顔と活気と魅力にあふれる和歌山」を目指して、持続可能な社会の実現に向けた様々な取組を進めていきます。

【第21回わかやま環境賞受賞者の皆さん（敬称略）】

賞	受賞者	市町	功績の概要
わかやま環境大賞	きとら農園	有田川町	荒れた里山を園地として再生し、有機栽培でのぶどう山椒生産や無農薬で循環型の桑の茶葉作りを行っている。
わかやま環境賞	伊都・橋本地球温暖化対策協議会	橋本市	手作り体験教室を通じて、次世代の子供たちに、地球温暖化や環境保全に係る学習を実施している。
	和歌山市立楠見西小学校	和歌山市	校区周辺のごみ調査や清掃活動に取り組みながら、海ごみ問題の学習を行っている。
	大塔地球元気村実行委員会	田辺市	自然体験教室や川と自然を考えるフォーラム、ごみ持ち帰り運動等の実施により、地域の環境啓発に取り組んでいる。
特別賞	中松 キミヨ	上富田町	26年にわたり、ほぼ毎日路上や溝・藪のごみ拾いを行い、地域の美化に努めている。

●移住推進に向けた新たな取組を始めました！

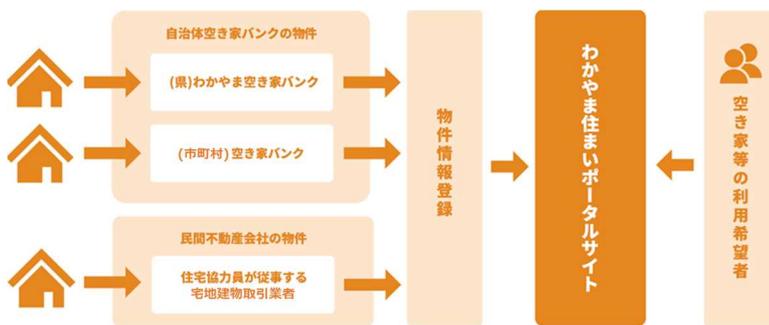
県では、移住による地域の活性化等を図るため、これまで県内3か所で行っていた移住相談・現地案内・空き家相談の窓口を1か所に統合し、移住希望者の利便性を高めた「わかやま移住定住支援センター」を6月1日、和歌山市内にオープンしました。



わかやま移住定住支援センター内の様子

本センターでは、移住に関する総合的な相談はもちろんのこと、現地案内や各市町村の移住の専門スタッフであるワンストップ

パーソンの紹介、移住関連情報の発信、定住につなげる移住者のフォローアップなどに取り組み、移住希望者あるいは移住者をきめ細かく支援しています。



「わかやま住まいポータルサイト」の仕組み

さらに、移住希望者の住まい探しを支援するため、県・市町村の空き家バンク物件と民間不動産会社の物件の両方の情報を検索できるWebサイト「わかやま住まいポータルサイト」を6月1日に開設しました。

「わかやま LIFE」  
住まいポータルサイト  
QRコード



本サイトには、移住希望者が、希望する住まいの条件をオンラインで入力しオーダーすれば、地域の不動産会社から物件情報の提供が受けられる「わかやま住まいオーダーサービス」も併設しています。

このほか、新たな移住の動きとして、令和4年2月から「移住とサッカークラブと農業」をテーマとする「南紀オレンジサンライズFC」が紀南地方を拠点に本格的な活動を開始しました。県外から移住された選手22名ほかスタッフの皆さんは、農業や介護事業所、地元企業の仕事に従事し、職場や地域からの支援を受けながら、当面、関西リーグへの昇格を目指し活躍されています。また、地域への貢献活動も予定されています。

コロナ禍によるテレワークの拡大等で移住への関心が高まっている中、県は、移住希望者への案内・相談体制の強化や住まい探しを支援するとともに、和歌山の魅力を発信することにより、和歌山での暮らしに関心をもつ方と地域を繋ぐ役割を果たすことで、より多くの方に和歌山へ移住していただけるよう、引き続き取り組んでいきます。

●和歌山大学教育学部附属小学校と駐日ウクライナ大使館とのオンライン交流会を開催しました

県では、ウクライナでの人道危機対応及び救援活動を支援するため、令和4年3月7日から「ウクライナ人道危機義援金」を募集しています。

そのような中、和歌山大学教育学部附属小学校の児童たちが自主的に同校内で募金活動を行い、県を通じてセルギー・コルスンスキー駐日ウクライナ大使にお渡ししたところ、この取組



駐日ウクライナ大使のメッセージを聞く児童たち

に感銘を受けられ、同大使館と青少年交流の一環として交流会が実現しました。



記念撮影の様子

交流会は6月23日にオンライン形式で開催され、同校6年生の児童92名が参加しました。駐日ウクライナ大使のメッセージの後、同大使館のインナ・イリナ三等書記官から、ウクライナの首都キーウの歴史をはじめ、国旗の由来、食文化や民族衣装などについてクイズ形式で学びました。

参加した児童からは、「文化の違いにとっても驚いた」「もっとウクライナのことを知りたいと思った」「ウクライナのために自分達ができる限りをしていきたい」などの感想が聞かれました。

県では、今後も様々な機会を捉えて国際交流活動の取組を進めていきます。

なお、同義援金は令和4年9月30日まで募集を行っておりますので、引き続き皆さんの温かい御支援をお願いします。

<ウクライナ人道危機義援金>

◎受入期間 令和4年3月7日から9月30日まで

◎義援金口座

金融機関	口座番号	口座名義
紀陽銀行県庁支店	普通 0415600	うくらいなじんどうききぎえんきん ウクライナ人道危機義援金
きのくに信用金庫本店営業部	普通 2678399	
和歌山県信用農業協同組合連合会本所	普通 0008759	

\* 当該義援金は、所得税法及び地方税法に規定する寄附金控除の対象にはなりません。

\* 手数料等の詳細は、県国際課ホームページをご覧ください。

( <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/022300/d00209871.html> )

● 総合警備保障株式会社（ALSOK）と包括的連携協定を締結しました

県では、県民の防災及び防犯意識の向上を図り、県民生活における安全・安心な地域づくりの実現に資することを目的として、6月17日に総合警備保障株式会社（ALSOK）と包括的連携協定を締結しました。

これまでも県では、県民の命を守るため、避難場所の検索等が可能な「和歌山県防災ナビ」の普及や、地域における交通安全等の意識向上

のため、県警察、各種関係団体等と連携した各季の交通安全運動や「地域安全マップ」(\*)の作製支援などの取組を推進してきました。

一方、ALSOKは大規模災害に備えて、社員等の防災意識向上に取り組まれるとともに、防犯の知見を活かした防犯出前授業などの取組を進めてこられました。

県としましては、①防災意識の向上、②災害時の防犯意識向上、③交通安全、④防犯対策の4項目にわたる今回の協定締結を契機として、それぞれが有する人的・物的資源を有効に活用した、安全・安心な地域の一層の活性化及び県民サービス向上に向けた取組を進めていきます。

(\*) 地域安全マップ

・・・地域で犯罪や交通事故等が起きやすい注意すべき場所をまとめた地図。

関係機関・団体が子供達と一緒に通学路や学校周辺の道等を歩き、地図作製を通して児童の危険予測・回避能力の向上を図ります。



総合警備保障(株)青山幸恭代表取締役社長と知事

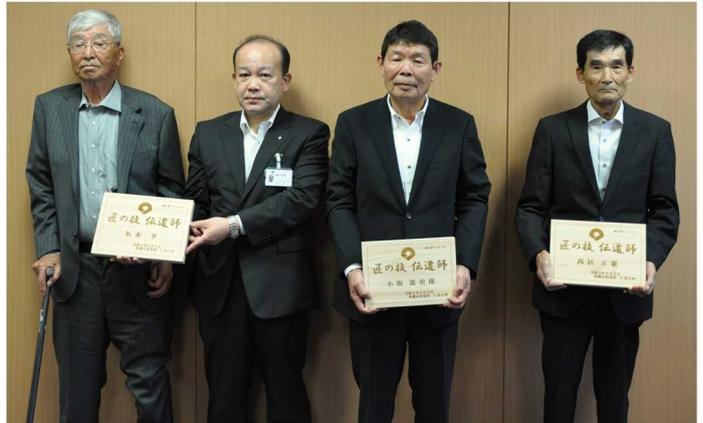
【包括的連携協定の内容】

協定項目	具体的な取組例
①防災意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ALSOKが開催する避難訓練への県の協力（防災ナビの活用や訓練手法への助言等）</li> <li>・ ALSOKの取引先企業等への防災ナビの普及促進</li> </ul>
②災害時の防犯意識向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難時の警備等に係るALSOKの実績に基づいた県民向け講演会への講師派遣</li> </ul>
③交通安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県が実施する高齢者交通安全出前講座への講師派遣</li> <li>・ ALSOKの契約者等への啓発チラシの配付や社用車を活用した広報啓発</li> </ul>
④防犯対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県が実施する地域安全マップ支援事業への講師派遣</li> <li>・ ALSOKによる業務中の見守り活動や高齢者への声かけによる特殊詐欺防止等への協力</li> </ul>

●令和4年度「匠の技 伝道師」を認定しました！

県では、令和3年度より、卓越した栽培技術をもつ農業者を「匠の技 伝道師」として認定し、その優れた農業技術を着実に次世代に伝承するための取組を行っています。

今年度は3名の農業者を新たに認定し、6月30日に県庁で認定証交付式を開催しました。



「匠の技 伝道師」として認定された皆さん

皆さんは、それぞれの品目について、豊富な御経験に裏打ちされた確かな技術力をおもちの方々です。

今後は、地域毎に認定者による講演会や座談会等を開催した後、技術の継承を希望する方を募集し、マッチングを行います。

なお、令和3年度に「匠の技 伝道師」として認定した7名の方には、技術継承を希望する方への研修・指導等の活動に御協力いただいております。昨年度開催した研修会等には延べ97名の方が参加され、39名が技術継承に向けて取り組んでいます。

農業従事者の方がスキルアップすることにより、農業の生産性向上や増収が見込まれるとともに、農業経営の強化につながります。県では引き続き、本県農業の維持と発展に向けて本取組を進めていきます。

【令和4年度「匠の技 伝道師」認定者の皆さん（敬称略）】

氏名	市町	品目	技術等の概要
にしい まさのり 西居 正憲	海南市	ミニトマト	細やかな水管理や草勢のコントロールによるブランドミニトマト「美味房（おしんぼう）」の高品質安定生産技術
こさか けんしろう 小坂 憲史郎	紀の川市	果樹苗	挿し木における水分の適正管理により高い発根率を実現した効率的な苗木生産技術
ゆりもととおる 塚本 亨	日高川町	温州みかん	高度な整枝・せん定技術と肥培管理技術等により「ゆら早生」の高品質果実の多収生産技術

<認定要件>

- 卓越した農業技術を有し、県内継承希望者へ技術伝承する意思がある方
- (例) 地域水準を上回る収穫量や販売単価を実現
- 高品質な農産物の安定生産を実現
- 新技術を地域で先駆的に導入 など

### ●ふるさと教育副読本「わかやま何でも帳」を改訂しました

県教育委員会では、児童生徒がふるさと和歌山について幅広い知識をもったり、「なぜ」「どうして」といった探究心を大切に、興味・関心のある内容を深めたりするきっかけとなる教材として、平成22年にふるさと教育副読本「わかやま何でも帳」を作成し、県内の小・中学校、高等学校、特別支援学校等に配布しています。

これまで、何度か改訂を行ってきた本書ですが、この度、統計データ、グラフ等の最新データへの更新はもちろんのこと、昨年開催された「紀の国わかやま総文」「紀の国わかやま文化祭」をはじめ、「和歌山県誕生150年」についての記述追加や「和歌山の遺産」の項目追加など、内容をより一層充実させました。

県では、児童生徒が郷土の先人たちや豊かな歴史、文化、自然などへの理解を深めるとともに、ふるさと和歌山への愛着を高め、ふるさとに貢献しようとする人を育てるため、引き続き「ふるさと教育」の充実に取り組んでいきます。



「わかやま何でも帳」表紙

### ●「ワールド・ビア・カップ2022」で本県の酒類が受賞しました！

ビール醸造の芸術と科学を称えるため米国で開催された、ビールの世界最大規模の審査会「ワールド・ビア・カップ2022」で、「Irish-Style Red Ale」部門に出品された115銘柄の中から、平和酒造株式会社（海南市）の「平和クラフトレッドエール」が金賞（1位）を受賞しました。

この「平和クラフト」ブランドの立ち上げから携わり、製造責任者として日々ビールづくりに奮闘されているのが、ビール醸造家・高木加奈子<sup>たかぎ</sup>さんです。

高木さんは東京生まれ。東京農工大を卒業後、和歌山県に移住し、同社に入社されました。酒づくりを通じて、地域の方々との交流も深められ、和歌山に根ざした酒造家として活躍されています。

弛まぬ努力と高度な醸造技術により生み出され、「ビール競技のオリンピック」とも呼ばれる大会で榮譽に輝いたビールを、ぜひご賞味ください。



「平和クラフト レッドエール」  
赤い色合いと苦みの少ない味わいが特長です

## ● なつやすみの美術館 12 妻木良三「はじまりの風景」が開催中です

和歌山県立美術館では、夏休みを利用して子供や大人に様々な美術の楽しみ方を体験していただこうと、2011年から「なつやすみの美術館」シリーズを開催しています。12回目を数える今回は、和歌山県湯浅町出身の美術家・妻木良三（1974年ー）<sup>つまきりょうぞう</sup>さんをご紹介します。

妻木さんは、武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻油絵コースを修了され、1998年より鉛筆による絵画を描き始めました。東京での活動の後、2008年に湯浅町に帰郷され、自坊の本勝寺で



妻木良三さん（アトリエにて）



《ZONE I》2017-2022年

僧職を務めながら研鑽を重ねてこられ、2016年度に和歌山県文化表彰文化奨励賞を受賞されました。

妻木さんの作品には、波や雲、海岸や山を思い起こさせる柔らかなタッチが、主に鉛筆を用いて描き出されています。それらは具体的な情景というよりも、どこかであり／どこでもない、時間や場所の制限を超えて存在する原初的な世界への入口であるようにも感じられ、こうした世界へのつながりを、妻木さんは日々ため池のほとりや浜辺を歩く中で見つける化石や骨、ウニの殻など、様々な自然



《境界 VI》2013年

物の中にも見出されています。

県立近代美術館では、妻木さんが見つけた「はじまりの風景」を所蔵品と併せてご紹介しています。

皆さんも、この夏休みを美術館で過ごされてはいかがでしょうか。

## ＜開催概要＞

会 場	和歌山県立近代美術館 2階展示室
会 期	令和4年7月5日（火）～9月4日（日）
開館時間	9時30分～17時（入館は16時30分まで）
休 館 日	毎週月曜日（ただし、7月18日は開館し、翌19日休館）
観 覧 料	一般520円(410円)・大学生300円(260円) * ( )内は20名以上の団体料金 * 高校生以下、65歳以上の方、障害のある方、県内に在学中の外国人留学生は無料 * 7月23日、8月27日(毎月第4土曜日)は「紀陽文化財団の日」として大学生無料 * 8月7日、9月4日(毎月第1日曜日)は入館無料

●ふるさと和歌山応援寄附（ふるさと納税）のご案内

ふるさと和歌山応援寄附は、「ふるさと和歌山を大切にしたい」、「和歌山を応援したい」という思いを具体化するための制度です。これまで多くの御寄附と力強い応援メッセージを頂いております。

県では、ふるさと和歌山応援寄附を「世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』の保全や活用」や「がん対策の充実」などの分野で活用させていただいております。

御寄附につきましては、申出からクレジット決済等までを同時に行うことが可能なふるさと納税総合サイトをご利用ください。

また、和歌山県外にお住まいで1万円以上の御寄附をいただいた方には、和歌山県優良県産品（プレミアム和歌山）として県が認定した商品等の中から、事業者の協力を得て選定した返礼品の中から1品をお選びいただけます。和歌山県が誇る優良産品をぜひご堪能ください。

ふるさと和歌山応援寄附についての詳細は、和歌山県のホームページ上の「ふるさと和歌山応援サイト」に掲載しています。

これからも、ふるさと和歌山応援寄附にご協力いただきますようお願い申し上げます。

ふるさと和歌山応援サイト(和歌山県へのふるさと納税)

「ふるさと」と聞いてみなさんが想像するものは何でしょう。  
和歌山県では、「元気な和歌山」を創造していくため、さまざまな施策の推進に取り組んでいます。  
ぜひ、皆様も寄附を通じてふるさと和歌山を応援してください。



ふるさと和歌山応援サイト

検索

各ポータルサイトのQRコードはこちら

ふるさとチョイス



ふるなび



ANAのふるさと納税



ふるラボ



JALふるさと納税



\*\*\*\*\* ふるさと和歌山応援寄附（ふるさと納税）に関しましては \*\*\*\*\*

★お問合せ・申込窓口★

〒640-8585

和歌山市小松原通一丁目1番地

総務部総務管理局税務課

担当 棚野、宮田、小弓場

電話 073-441-2186(直通)

FAX 073-423-1192

E-mail: furusato-ouen@pref.wakayama.lg.jp

★お問合せ窓口★

〒102-0093

東京都千代田区平河町2-6-3

都道府県会館12階

和歌山県東京事務所

担当 前

電話 03-5212-9057

FAX 03-5212-9059

## ●ふるさと和歌山応援寄附を活用して行う県の取組

## ① 新型コロナウイルス感染症対策【お礼の品なし】

新型コロナウイルス感染症の対策をすすめます。



## ⑧ 地元企業への就職を促進する奨学金返還支援

和歌山の経済を牽引する製造業や情報通信業の将来の担い手となる人材の確保を支援します。

- 理系の大学生等を対象に県内の製造業や情報通信業などの業務を行う企業に就職し、3年勤務した場合、奨学金の返還を最大100万円助成します。



## ② 生涯スポーツ・文化の振興

全国規模の大会の開催を通じて、生涯スポーツの振興と文化力の向上を図ります。

- ワールドマスターズゲームズ関西
- 全国高等学校総合体育大会ヨット競技大会などの開催をすすめます。



## ⑨ 学校図書館や県立図書館の蔵書の充実

和歌山の未来を担う子供の育成や県民の読書文化の向上のため、学校図書館や県立図書館の蔵書の整備をすすめます。

- 県立学校の図書館の蔵書の充実をすすめます。
- 県立図書館の蔵書の充実をすすめます。



## ③ 子供たちの教育環境の充実【お礼の品なし】

各学校において、「教育環境の充実」、「特色ある学校づくり」などをすすめます。

母校など寄附をしたい高等学校（私立も含む）や特別支援学校があれば指定することができます。



## ⑩ わかやまの美しい海づくり

黒潮の恵みを受ける和歌山は、リアス式の美しい風景に彩られた約652kmにも及ぶ長い海岸線と数多くの海水浴場を有しています。ふるさとの海を守り、より美しくして海のレクリエーションを盛んにします。

- 白良浜海水浴場
- 片男波海水浴場などの砂浜の整地をすすめます。



## ④ がん対策の充実

和歌山はがんで亡くなられる方が多い県です。がんになっても安心して治療が受けられ、自分らしく生きることができるよう支援制度を充実していきます。

- 所得等が一定以下のがん患者の方に対して、先進医療の一部を補助します。
- 若年がん患者の方に対して、生殖機能の温存や療養生活の充実に向けた支援を行います。



## ⑪ わかやまの文化財の保護

和歌山県には重要な歴史資産がたくさんあり、全国で国宝は6番目、重要文化財は7番目に多いところです。ふるさとの大切な文化財を保全して未来に伝え、郷土の活性化に寄与します。

- 国・県指定文化財の建造物修理や史跡整備などを支援します。



## ⑤ 犬・猫の殺処分ゼロを目指す活動への支援

和歌山県は、犬・猫の殺処分をなくすことを目標に、地域猫活動や新しい飼い主を探す活動に取り組む地域住民やボランティアを支援しています。

- これまでの活動で約5,300匹の野良猫に不妊去勢手術が施され、新しい家族が見つかった犬・猫は約2,000匹います。この支援を継続して、早期に「殺処分ゼロ」を実現します。



## ⑫ 大切なふるさとの森を守り育てる

和歌山は古くから「木の国」と呼ばれ、県土の77%が森林です。森林は洪水や濁水の緩和、生物多様性の保全、地球温暖化防止と限りない恵みを与えてくれます。かけがえのない森林を守り育て、継承していきます。

- 和歌浦地区等の松くい虫防除対策をすすめます。



## ⑬ 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全や活用

和歌山の世界遺産をかけがえのないふるさとの宝、人類共通の宝として保全・活用し、次世代に継承していきます。

- 参詣道の維持管理・パトロールを行います。
- 世界遺産・周辺地域の風水害等に対する緊急修繕等を行います。



## ⑬ わかやまのナショナル・トラスト

和歌山は、みどり豊かな山々と雄大なリアス式海岸など、かけがえのない自然や歴史的資産を数多く有しています。これらの自然を保全し、次の世代に引き継いでいきます。

- 県民の公有財産として未永く保全していくために、自然環境の整備や土地の公有化をすすめます。



## ⑦ 南紀熊野ジオパークの推進

令和元年7月に完成した「南紀熊野ジオパークセンター」を拠点に、ユネスコ世界ジオパーク認定に向けた取組を推進します。

- 南紀熊野ジオパークセンターの充実をすすめます。



## ⑭ わかやまの農林水産業の振興

和歌山県の農林水産業は、地域経済や雇用を支える重要産業であり、食料供給や自然・景観保全など、様々な役割を果たしています。大切な農林水産業を振興し、次の世代に引き継いでいきます。

- 農林水産業の担い手の確保・育成対策を充実させます。
- 農林水産業の生産性の向上をすすめます。
- 農林水産業の魅力を国内外へ発信します。



※充当事業につきましては、状況の変化等により、変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。  
※お寄せいただいた寄附金の成果につきましては、「ふるさと和歌山応援サイト」などで報告させていただきます。

●ふるさと和歌山応援寄附「令和3年度寄附金活用事業実績報告」

ふるさと和歌山応援寄附の取組に多数の皆様の御理解と御賛同を頂き誠にありがとうございます。

おかげをもちまして、令和3年度は2,752名の方から約1億8,105万円の温かい御寄附を賜りました。

また、心温まる力強い応援のメッセージも多数いただきました。紙面をもちまして厚く御礼申し上げます。

お寄せいただいた寄附金は、一部を除き令和4年度以降の事業に活用させていただきます。

なお、令和2年度に頂いた寄附金は、次のとおり令和3年度事業に活用させていただきましたので御報告申し上げます。(残りの寄附金については、令和4年度以降の事業に活用させていただきます。)

生涯スポーツ・文化の振興

【寄附金の活用額 4,094千円】

「紀の国わかやま文化祭」(第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭)の開催に活用させていただきました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの準備や運営に大きな制限を受けながらも、世代・地域の違い・障害の有無にかかわらず、多くの県民が参加するとともに、オンライン配信など新たな取組を実践できました。

全ての関係者が「紀の国わかやま文化祭」開催に向け「できること」をしつかりと積み上げた結果、県内全域で多彩なイベントが開催されました。まさに「文化・芸術一色に包まれた23日間」となり、大きな感動が生まれ、コロナ禍で沈んだ多くの人たちの心に文化の力で元気と明るい希望の光を届けることができました。



開会式の様子



閉会式の様子

**南紀熊野ジオパークの推進**

【寄附金の活用額 1,258 千円】

南紀熊野ジオパークセンターが行うジオサイトの調査研究活動に活用させていただきました。



ジオサイト（串本海域公園）



研究試料の採取

**がん対策の充実**

【寄附金の活用額 630 千円】

がん患者の方の支援のために活用させていただきました。

**世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全や活用**

【寄附金の活用額 7,519 千円】

高野・熊野の参詣道をはじめとする世界遺産の維持管理・修繕・災害復旧のために活用させていただきました。

**学校図書館や県立図書館の蔵書の充実**

【寄附金の活用額 2,764 千円】

**○県立全日制高等学校の図書の充実【1,476 千円】**

県立全日制高等学校 29 校の図書購入費の一部として活用させていただきました。

**○県立図書館の蔵書の充実【1,288 千円】**

和歌山県立図書館の蔵書充実の全事業費 62,447 千円の一部として活用させていただきました。

なお、本事業全体で、県立図書館本館（和歌山市）は 13,055 冊、紀南分館（田辺市）は 4,252 冊の蔵書を充実させました。

## 大切なふるさとの森を守り育てる

【寄附金の活用額 2,373 千円】

松くい虫被害防止対策として、美浜町煙樹ヶ浜での薬剤の地上散布を行うために活用させていただきました。



薬剤散布の様子



煙樹ヶ浜の松林

## わかやまの文化財の保護

【寄附金の活用額 2,378 千円】

県名勝の藤崎弁天（紀の川市）や湯浅町湯浅伝統的建造物群保存地区（湯浅町）の保存・整備のために活用させていただきました。



藤崎弁天の整備（紀の川市）



伝統的建造物の修理（湯浅町）

## わかやまの美しい海づくり

【寄附金の活用額 3,069 千円】

県内の海水浴場の整備や海岸保全施設の修繕に活用させていただきました。



整備中の白良浜海水浴場（白浜町）



整備後の状況

## 新型コロナウイルス感染症対策

### ○認知症患者受入支援、中核病院 PCR 導入支援

【寄附金の活用額 117,736 千円】

新型コロナウイルス感染症対策として、認知症患者受入支援、中核病院 PCR 導入支援のために活用させていただきました。

### ○環境衛生研究センター再整備 【寄附金の活用額 45,054 千円】

環境衛生研究センターの再整備に係る設計費等に活用させていただきました。

## 犬・猫の殺処分ゼロを目指す活動への支援

### ○不幸な猫をなくすプロジェクト 【寄附金の活用額 7,216 千円】

不幸な命をなくすために地域猫対策を実施してくださっている方への支援として、地域猫の不妊去勢手術（令和 3 年度実績 1,795 匹）の費用の一部として活用させていただきました。不妊去勢手術の際に目印のため耳先を V 字にカットされた猫は、元の場所に返され地域猫として 1 代限りの命を全うします。

なお、猫の殺処分数は、プロジェクト開始前と比較し、2,478 匹（平成 27 年度）から 422 匹（令和 3 年度）と 6 年間で 83% 減少しています。



不妊去勢手術の様子



耳先を V 字にカットされた地域猫

## 地元企業への就職を促進する奨学金返還支援

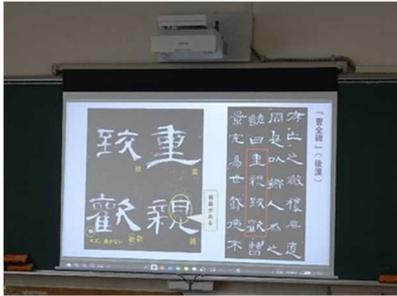
【寄附金の活用額 2,000 千円】

和歌山県若手中核人材確保強化事業に参画している県内企業に研究開発職・技術職として、定着した方への奨学金返還支援に活用させていただきました。

## 子供たちの教育環境の充実

【寄附金の活用額 5,300 千円】

県立高等学校や県立特別支援学校の学習用機器の整備のために活用させていただきました。



教育環境充実のために購入した備品等

\* 「わかやまの農林水産業の振興」、「わかやまのナショナル・トラスト」を用途として指定いただいた寄附金については、ふるさと和歌山応援基金に積み立て、令和4年度以降に活用させていただきます。

本年も引き続き、ふるさと和歌山応援寄附を通じて和歌山県を応援していただきますようお願い申し上げます。

制度の詳細につきましては、「ふるさと和歌山応援サイト」をご覧ください。

また、寄附申出時に公表に同意していただいた方の応援メッセージ等も掲載していますので、併せてご覧ください。



ふるさと和歌山応援サイト

検索

URL : <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/010500/furusato/>

## ●和歌山の食の総合ポータルサイト「おいしく食べて和歌山モール」の御案内

県では、県産品を生産販売する県内事業者の商品販売ページを紹介するインターネットショッピングモール「おいしく食べて和歌山モール」を開設しています。和歌山の特産品である果物や果実加工品、しらす・干物などの水産加工品、菓子類など様々な商品をご紹介します。

大手ショッピングモールサイトと自社のサイトで同時に販売しているなど、同一の商品について販売サイトが複数ある場合は、商品購入用リンクを並列して複数掲載し、消費者の好みに合わせて購入できるようにしています。

和歌山県が全国の生産の65%のシェアを持つ「梅」。本サイトでは梅干をはじめ、梅酒など様々な梅関連商品をご紹介します。

6月11日の「梅酒の日」に合わせ、「中島由貴の和歌山をおいしくいただきます」コーナーで「GI 和歌山梅酒」の魅力を発信するPR動画を配信しています。中島さんが梅酒マッピング図を参考にしながら、GI和歌山梅酒を飲み比べ、それらの魅力をお伝えしています。

「おいしく食べて和歌山モール」を通じ“食の宝庫和歌山”の魅力を感じていただくとともに、和歌山県の商品を購入される際は、ぜひご活用ください。



<おいしく食べて和歌山モール URL>  
<https://oishii-wakayama.com/>



**イベント情報（8月中旬～9月中旬）**

**\*新型コロナウイルス感染症の影響等により、規模の縮小や中止となる場合があります。最新の情報は、各主催者へお問い合わせください。**

開催日・期間	行事名	場所	問い合わせ先
8月中旬	興国寺火祭り	興国寺 (由良町)	興国寺 0738-65-0154
8月下旬	千燈籠供養	子安地藏寺 (橋本市)	子安地藏寺 0736-32-1774
9月上旬	献灯祭	光三宝荒神社 (橋本市)	光三宝荒神社 0736-32-7484
9月中旬	三輪崎八幡神社例大祭 (鯨踊り)	三輪崎八幡神社 (新宮市)	新宮市観光協会 0735-22-2840
9月中旬	筆供養祭	和歌浦天満宮 (和歌山市)	和歌浦天満宮 073-444-4769

**自然・風物情報（8月中旬～9月中旬）**

期間	自然・風物名	場所	問い合わせ先
8月中旬	梨狩りオープン	かつらぎ町内農園 (かつらぎ町)	かつらぎ町観光協会 0736-22-0300
8月下旬	イチジク出荷最盛期	紀の川市	JA 紀の里農産物流通 センター 0736-73-7200
9月上旬	鷲ヶ峰コスモスパークの コスモス見頃	有田川町	有田川町商工観光課 0737-52-2111
9月中旬	あらぎ島で稲刈始まる	あらぎ島 (有田川町)	有田川町ふるさと開 発公社 0737-25-0221

～編集後記～

短い梅雨が明け、6月下旬から暑い日が続きますが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。

今月も「和歌山だより」をご覧いただきありがとうございます。

さて、先月号で、梅の健康成分である梅ポリフェノールが注目されていますとお伝えしたところ、「私も和歌山の梅干しを食べています」「和歌山から梅製品を定期便で取り寄せています」とのメッセージをいただきました。ありがとうございます。みなさんから健康食としての梅の召し上がり方を教えていただきました。

また、5月号の「大切にしている言葉」「勇気をくれる言葉」については、多くの方々の大切な「金言」にまつわるお話やエピソードをうかがう機会をいただきました。いただきましたすてきな言葉を集めてみると「元気な一言付き日めくりカレンダー」ができそうくらいです。

また、「元気にしてくれる言葉」と「和歌山の梅」があれば元気100倍ですねとのメッセージをいただき、元気をいただくことができました。手作り感満載の「和歌山だより」ですが、最終ページまで読んでいただけていること、新しいご縁をいただいていることに感謝の気持ちでいっぱいです。

ご縁といえば、先日、「和歌山だより」をご覧になられた方からお電話をいただきました。「近々30人くらいで和歌山めぐりをしたいので、地図のようなものがあればいただきたい」とのご希望をうかがいまして、観光マップをお送りすることができました。どうか、みなさまにとって和歌山での良き思い出ができますように。このように何かお手伝いができることがございましたらお気軽にお声かけください。

暑い季節は始まったばかりです。みなさま、熱中症にはくれぐれもお気をつけてお過ごしください。

知事室 秘書課長 西山 雅美



★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんでいただけますので、ぜひご覧ください。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせください。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供ください。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。（下記のFAX（様式自由）、E-Mail等でお願います。）

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ <https://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/010500/furusato/>

\*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



2022年（令和4年）7月 NO.171

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2026